

53

P 午前

◎ 指示があるまで開かないこと。

(平成 30 年 2 月 25 日 9 時 50 分 ~ 12 時 30 分)

注意事項(一般受験者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
2. 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

101	①	②	③	④	⑤
			↓		
101	●	②	③	④	⑤

答案用紙②の場合、

101	101
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	⑤

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の③と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

102	①	②	③	④	⑤
			↓		
102	①	②	●	④	●

答案用紙②の場合、

102	102
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	●

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

注意事項(弱視者)

1. 試験問題の数は100問で解答時間は正味2時間40分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
 - (1) 各問題には1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) 101 破傷風菌の純粋培養に成功した人物はどれか。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例2) 102 解体新書を完成させた人物はどれか。2つ選べ。

1. 北里柴三郎
2. 志賀潔
3. 杉田玄白
4. 野口英世
5. 前野良沢

(例1)の正解は「1」であるから答案用紙の

問題番号	答
101	

の「答」の欄に

問題番号	答
101	1

と記入すればよい。

(例2)の正解は「3」と「5」であるから答案用紙の

問題番号	答
102	

の「答」の欄に

問題番号	答
102	3 5

と記入すればよい。

答えの数字は、はっきりと記入すること。不明瞭なものは解答したことになるので注意すること。

- (2) ア. (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
イ. (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- (3) 答案用紙は折り曲げたりメモやチェック等で汚したりしないよう特に注意すること。

◎ 指示があるまで開かないこと。

1 68歳の女性。変形性股関節症。発症して10年が経過し、右人工股関節全置換術を施行することとなった。術前評価として歩行分析を行ったところ、右立脚期にDuchenne歩行が観察された。

この患者に行う検査として重要度が低いのはどれか。

1. 筋力検査
2. 形態計測
3. 疼痛検査
4. 反射検査
5. 関節可動域検査

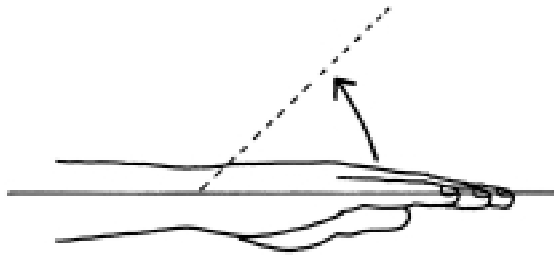
2 心電図(別冊No. 1 ①～⑤)を別に示す。

心電図と所見の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

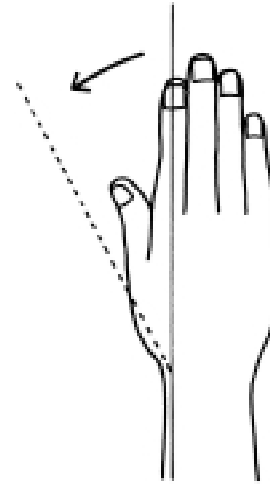
1. ① ——— 心房細動
2. ② ——— 洞性徐脈
3. ③ ——— 心室性期外収縮
4. ④ ——— 心房性期外収縮
5. ⑤ ——— 発作性上室性頻拍

別 冊 No. 1 ①～⑤

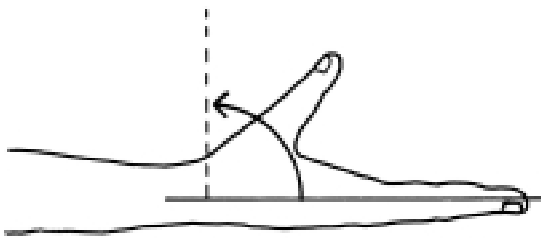
3 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で正しいのはどれか。2つ選べ。



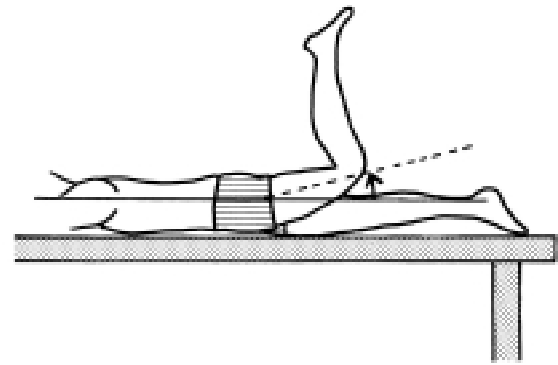
1. 手伸展



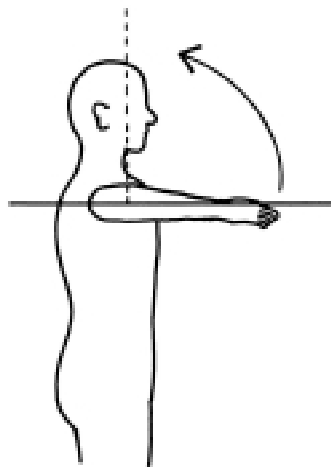
2. 手腕屈



3. 母指掌側外転



4. 股伸展

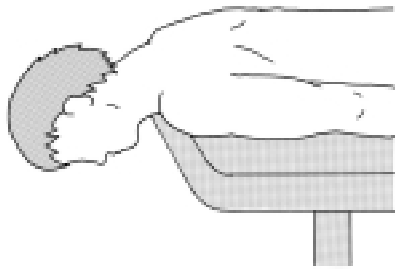


5. 肩外旋

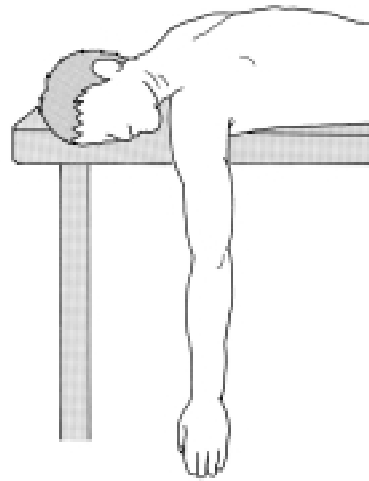
基本軸 —————

移動軸 - - - - -

4 Danielsらの徒手筋力テストにおける段階2の検査の開始肢位で正しいのはどれか。



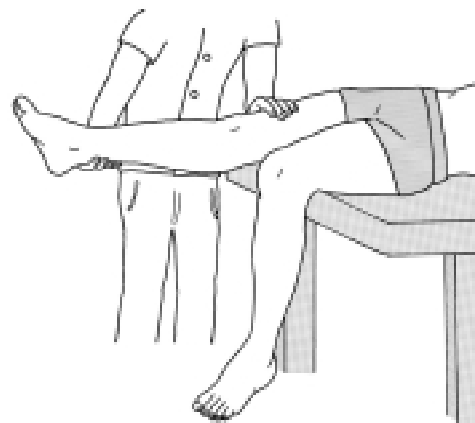
1. 頸部伸展



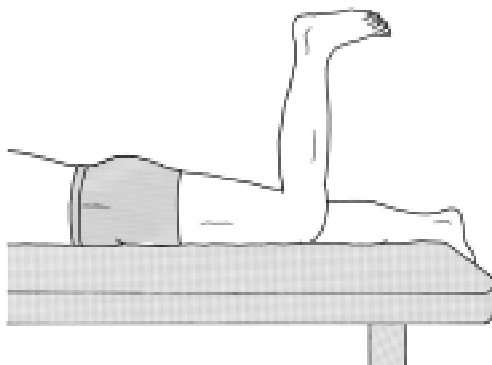
2. 左肩関節内旋



3. 左股関節内転



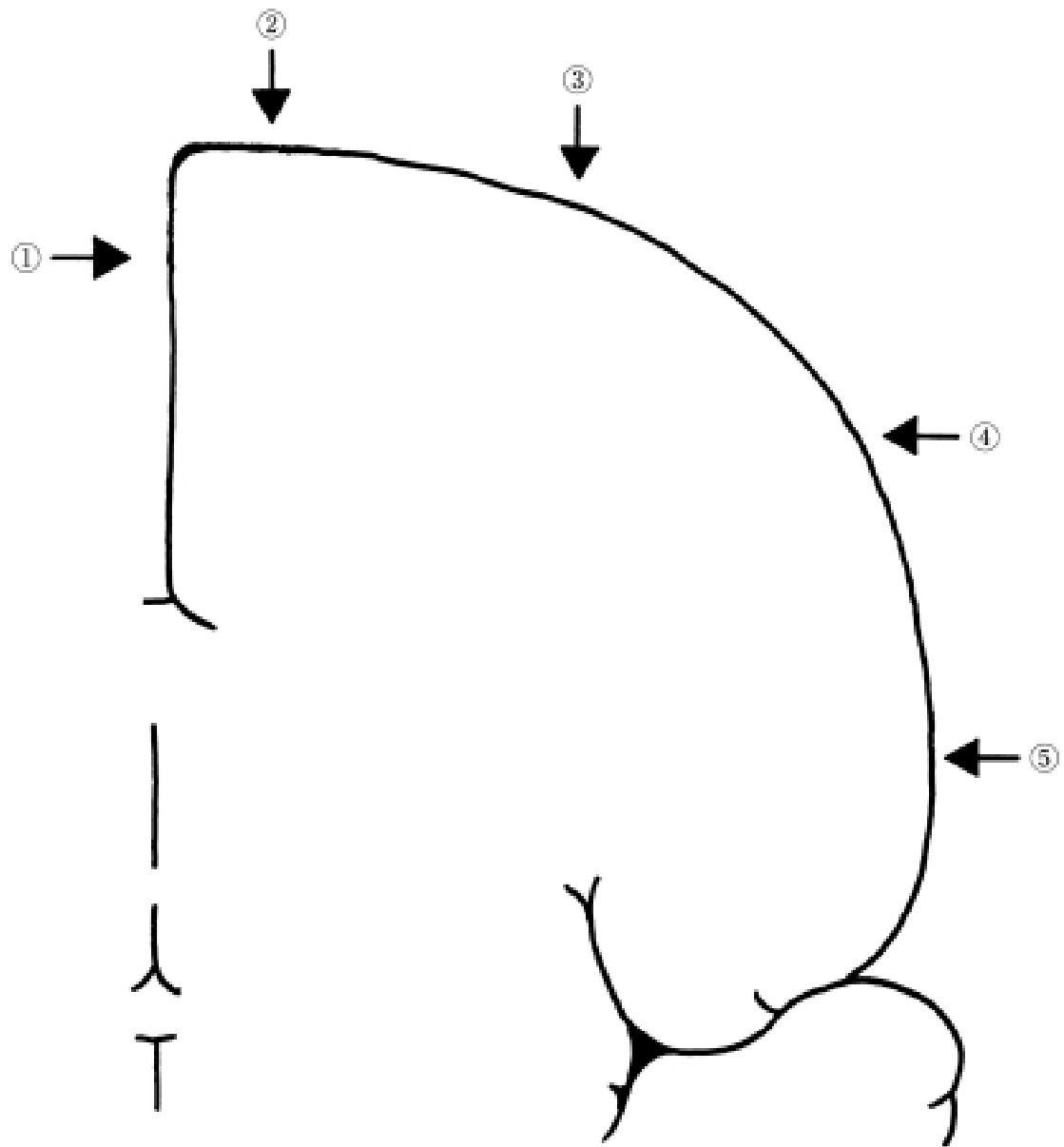
4. 左股関節外旋



5. 左股関節伸展

5 脳皮質の感覚野の片側前額断の模式図を示す。

Penfield の感覚神経の脳地図における足の局在はどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

6 75歳の女性。右利き。脳梗塞を発症し救急車で搬入された。発症翌日に症状の悪化を認めた。発症3日目の頭部MRIの拡散強調像(別冊No. 2)を別に示す。

最も出現しやすい症状はどれか。

1. 片麻痺
2. 失語症
3. 運動失調
4. 嚥下障害
5. 視野障害

別 冊

No. 2

7 70歳の男性。脳卒中による右片麻痺。現在のADLは次のとおりである。食事は普通食を先割れスプーン使用で自立、整容は自立、更衣は自立。トイレは部分介助、入浴は部分介助。背臥位から自力で起き上がり端座位保持可能だが、車椅子への移乗は監視が必要。移動は車椅子にて自立。排便や排尿は時々失禁がある。

Barthel Index の得点はどれか。

1. 35点
2. 45点
3. 55点
4. 65点
5. 75点

8 68歳の男性。胸部大動脈解離(Stanford分類B型)に対して経カテーテル的ステントグラフト内挿術が行われたところ、術後に麻痺症状がみられた。ASIA 評価表の結果を示す。

この患者の ASIA の重症度スケールと脊椎の損傷部位との組合せで正しいのはどれか。

運動機能			感覚機能			
	左	右	触覚		痛覚	
			左	右	左	右
C2			2	2	2	2
C3			2	2	2	2
C4			2	2	2	2
C5	5	5	2	2	2	2
C6	5	5	2	2	2	2
C7	5	5	2	2	2	2
C8	5	5	2	2	2	2
T1	5	5	2	2	2	2
T2			2	2	2	2
T3			2	2	2	2
T4			2	2	2	2
T5			2	2	2	2
T6			2	2	2	2
T7			2	2	1	1
T8			2	2	1	1
T9			2	2	1	1
T10			2	2	1	1
T11			2	2	1	1
T12			2	2	1	1
L1			2	2	1	1
L2	2	2	2	2	1	1
L3	2	2	2	2	1	1
L4	1	1	2	2	1	1
L5	1	1	2	2	1	1
S1	1	1	2	2	1	1
S2			2	2	1	1
S3			2	2	1	1
S4-5			2	2	1	1

0～5の数字は MMT に準ずる
NT=テスト不能

0=脱力
1=鈍麻
2=正常
NT=テスト不能

肛門随意収縮(有/無)

総計 $32+32=64$ 運動スコア
(最大) (50) (50) (100)

肛門感覚(有/無)

総計 $41+41=82$ 痛覚スコア(最大:112)
 $55+55=110$ 触覚スコア(最大:112)
(最大) (56) (56) (56) (56)

1. B ——— 脊椎の後方
2. C ——— 脊椎の前方
3. C ——— 脊椎の後方
4. D ——— 脊椎の前方
5. D ——— 脊椎の中心部

9 42歳の女性。感冒症状が出現して1週間後から対称性に両手のしびれを自覚し、脱力が急速に近位部へと広がったため神経内科を受診した。上肢遠位部優位の脱力と四肢の深部腱反射消失を認め、Guillain-Barré症候群と診断された。

検査所見として正しいのはどれか。

1. 髄液検査で細胞数が増加する。
2. 頸髄MRI検査で髄内信号異常を認める。
3. 末梢神経伝導検査で伝導速度が低下する。
4. 末梢神経の連続刺激でM波の振幅が漸増する。
5. 末梢神経刺激で誘発されるF波の潜時が短縮する。

10 4歳の男児。顕在性二分脊椎症による脊髄髄膜瘤の術後。立位の様子を図に示す。短い距離であれば独歩可能である。

予測される機能残存レベルの上限で正しいのはどれか。



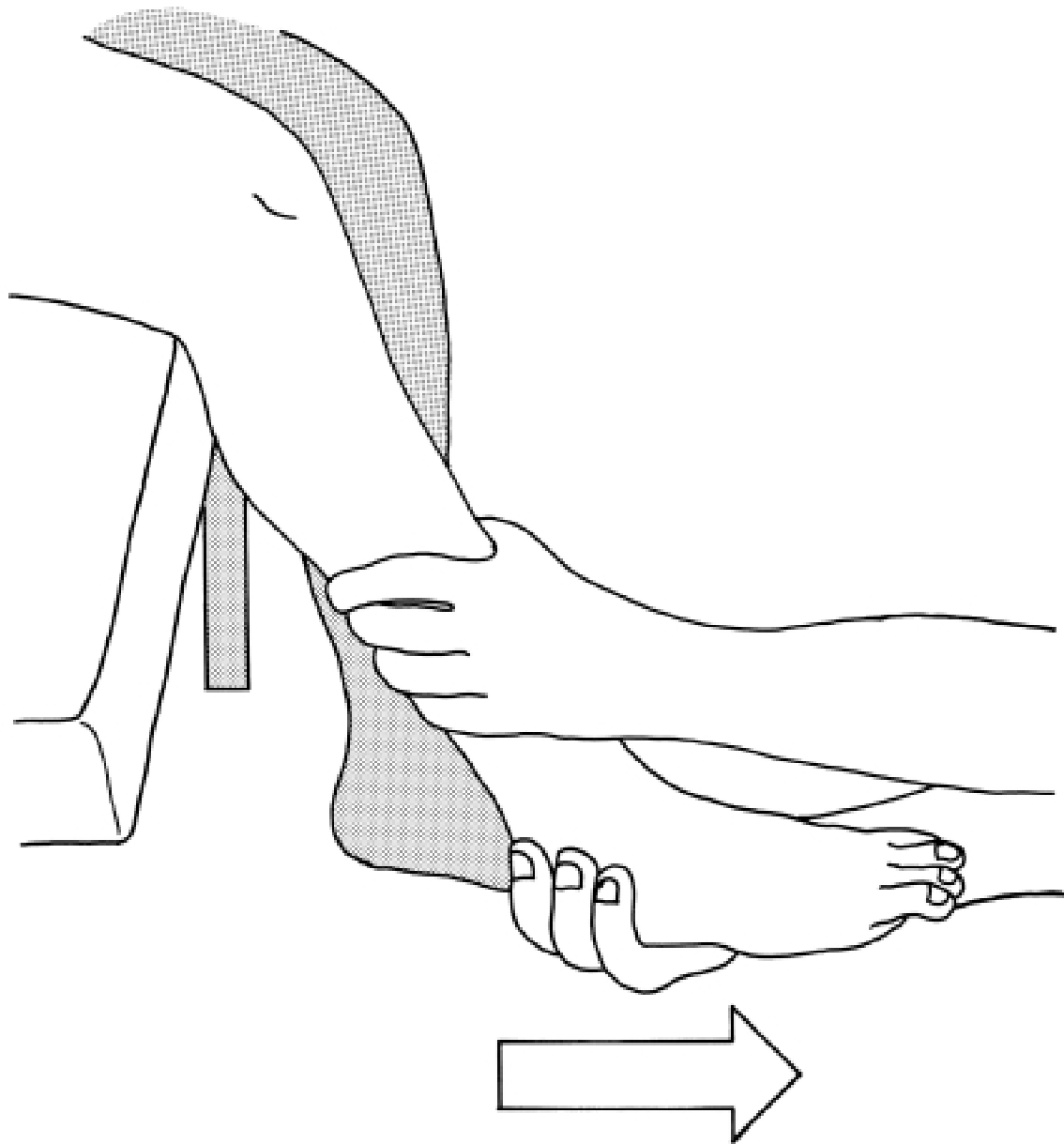
1. L2
2. L3
3. L4
4. L5
5. S1

11 55歳の男性。2型糖尿病。身長170 cm、体重85 kg。

BMI(body mass index)を24にするために目標とすべき体重に最も近いのはどれか。

1. 65 kg
2. 67 kg
3. 69 kg
4. 71 kg
5. 73 kg

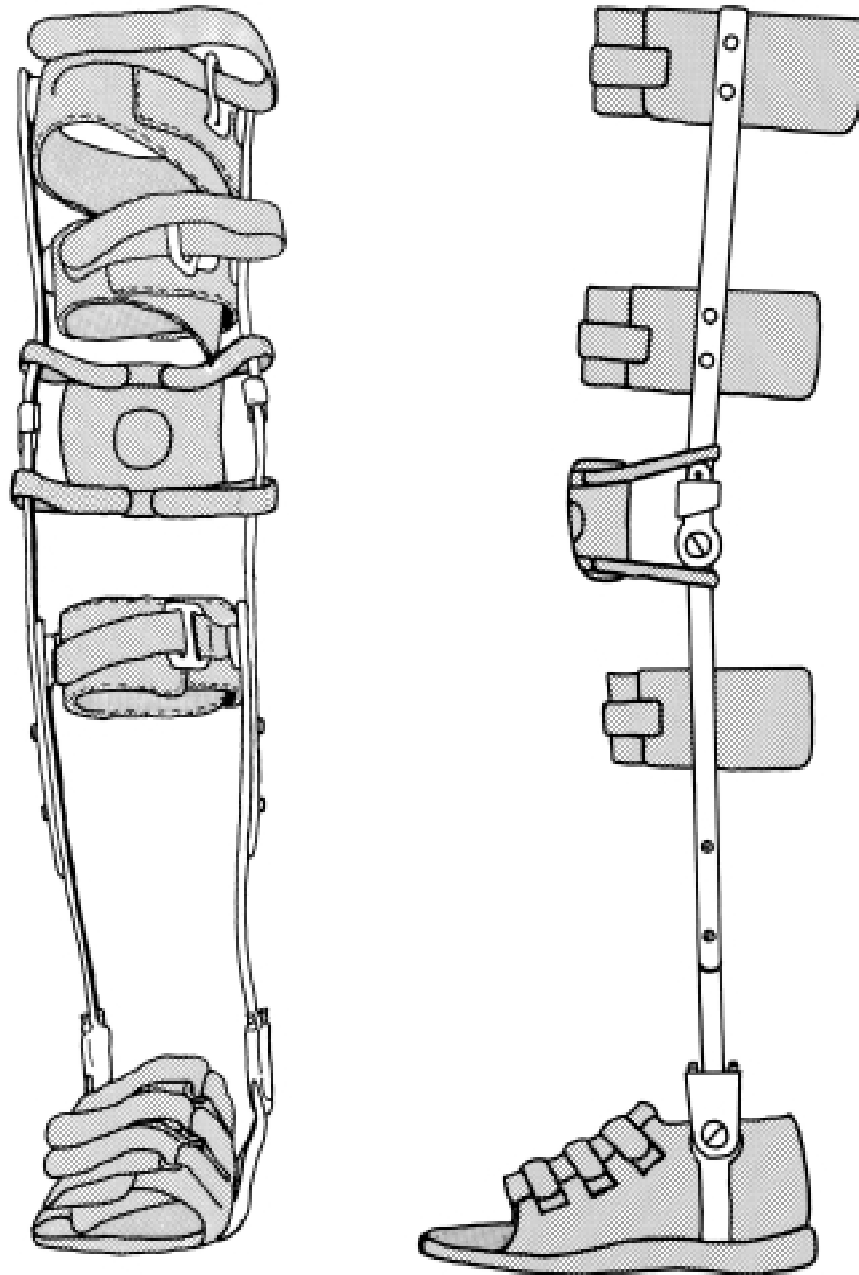
- 12 21歳の女性。バレーボールで着地時に足関節痛を訴えた。検査法を図に示す。
この検査で調べる靭帯損傷として正しいのはどれか。



矢印は負荷をかける方向を示す

1. 三角靭帯損傷
2. 踵腓靭帯損傷
3. 前距腓靭帯損傷
4. 前脛腓靭帯損傷
5. 二分靭帯損傷

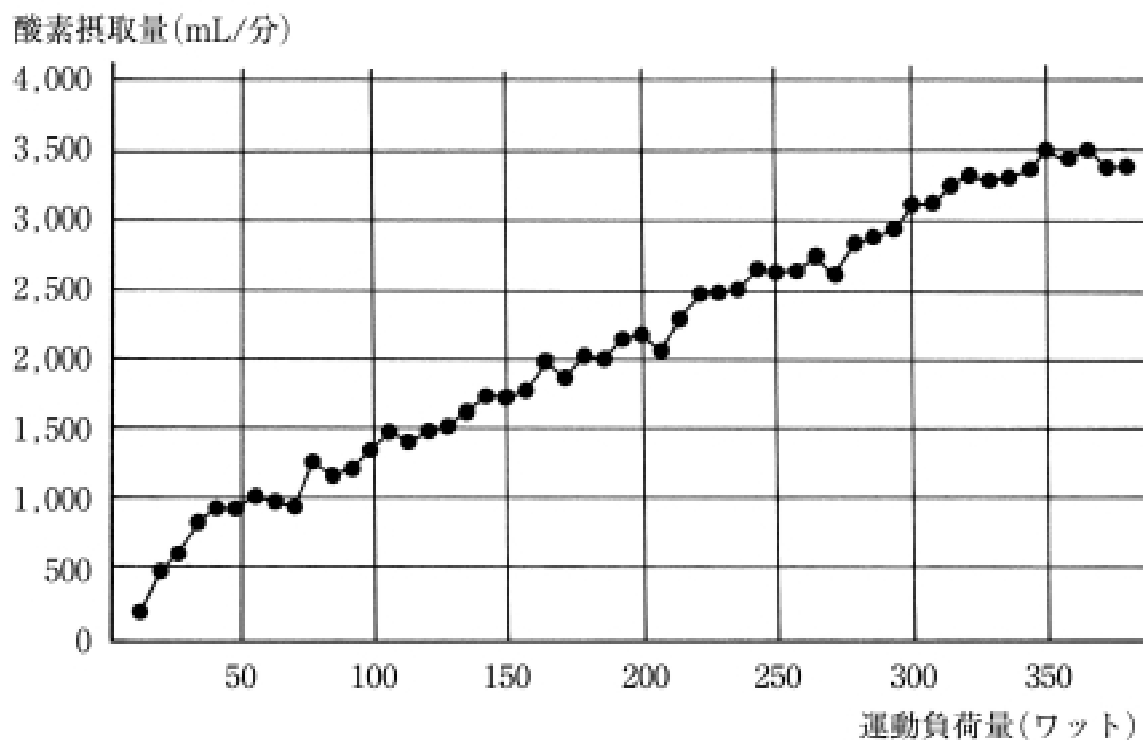
13 図に示す両側支柱付長下肢装具について正しいのはどれか。2つ選べ。



1. 外側支柱の高さは大転子から6 cm 下にする。
2. 膝継手はオフセット式である。
3. 下腿半月の位置は膝関節裂隙から2 cm 下にする。
4. 足継手はダブルクレンザックである。
5. 短下肢装具へと変更可能である。

次の文により 14、15 の問いに答えよ。

19歳の男性。基礎疾患はない。自転車エルゴメーターを用いた運動強度を次第に上昇させて運動終点まで運動負荷試験を行ったときの酸素摂取量の測定結果を図に示す。



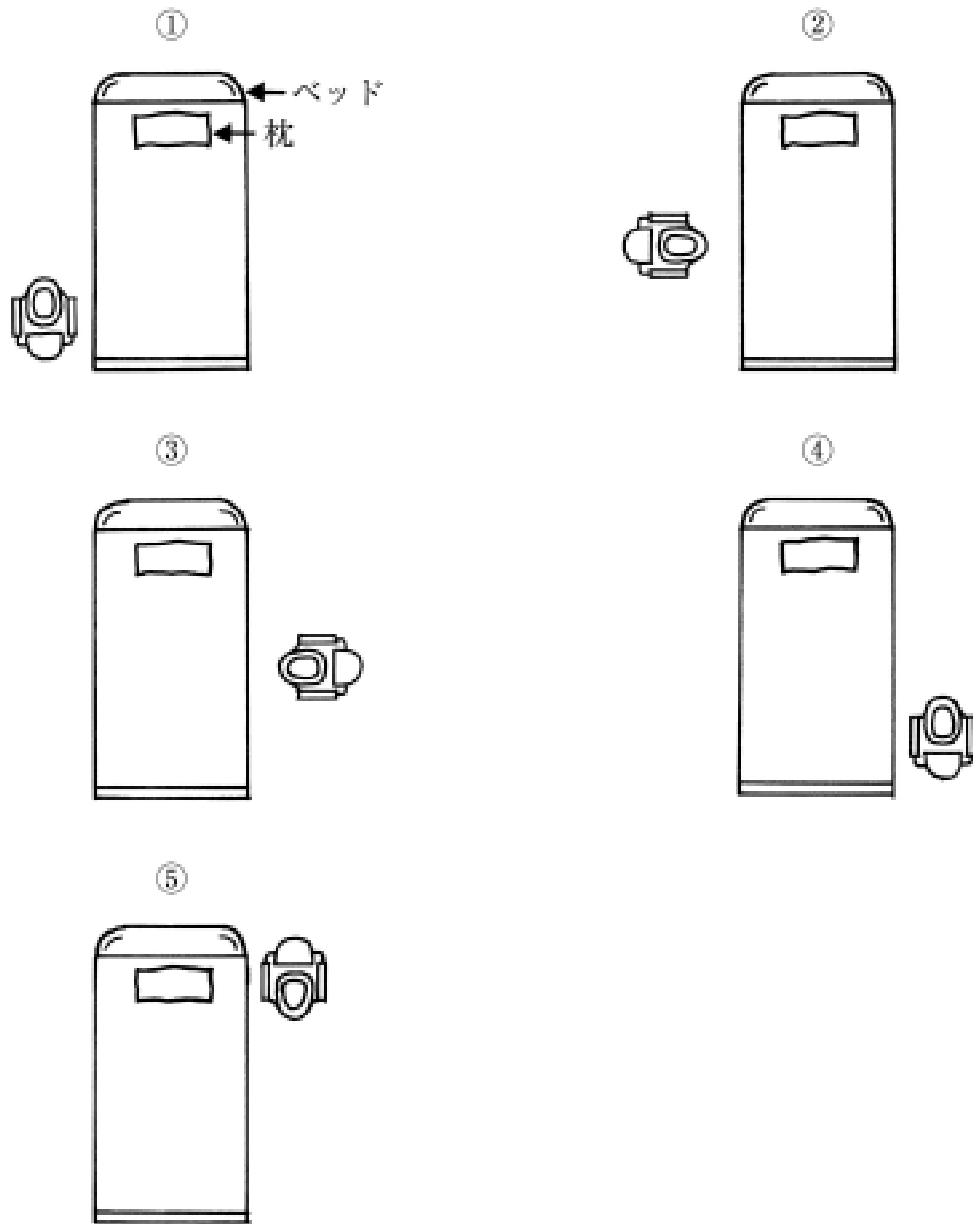
14 最大酸素摂取量 (mL/分) として正しいのはどれか。

1. 1,000
2. 1,500
3. 2,500
4. 3,500
5. 4,000

15 全身持久力改善のために必要な運動負荷量(ワット)として正しいのはどれか。

1. 50
2. 100
3. 200
4. 300
5. 350

- 16 脳卒中後の左片麻痺患者の生活環境を整えることとした。
ベッドとポータブルトイレの位置で適切なのはどれか。



1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

17 45歳の女性。右変形性股関節症。先天性股関節脱臼の既往がある。1年前から荷重時の右股関節痛があり、2か月前から安静時痛も出現した。起居動作時や歩行時の疼痛が強くなってきたため受診した。

ADL 指導として適切なのはどれか。

1. 階段は右足から昇段する。
2. 階段は左足から降段する。
3. できるだけ低い椅子に座る。
4. T字杖を使用する場合は左手に持つ。
5. 左足よりも右足を手前に引いて椅子から立ち上がる。

18 55歳の男性。トラックの荷台(2 m)から転落して受傷した。来院時の足関節エックス線単純写真(別冊No. 3A)及び冠状断CTとCTの模式図(別冊No. 3B)を別に示す。

保存的に加療したとき、今後最も起こりやすい合併症はどれか。

1. 凹足
2. 踵足
3. 内反尖足
4. 変形性関節症
5. 無腐性骨壊死

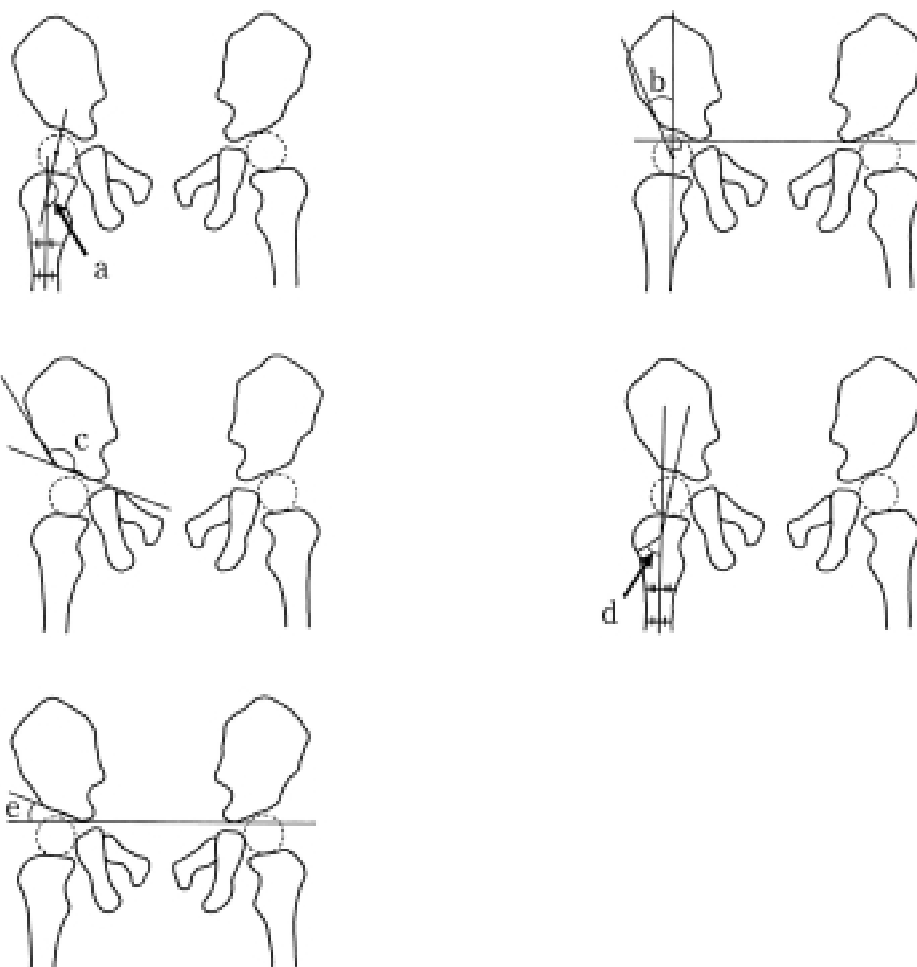
別冊 No. 3 A、B

次の文により 19、20 の問いに答えよ。

生後 4 か月の乳児。健診で股関節の異常を指摘された。来院時に右股関節の開排制限を認めたため、股関節のエックス線単純検査を行った。

19 股関節の図を示す。

臼蓋角はどれか。



1. a
2. b
3. c
4. d
5. e

20 この患児の股関節のエックス線単純写真(別冊No. 4)を別に示す。
行うべき対応として適切なのはどれか。

1. 経過観察
2. ギブス固定
3. 観血的整復術
4. オーバーヘッド牽引
5. リーメンビューゲル装具

別 冊 No. 4

21 研究に関する用語と説明の組合せで正しいのはどれか。

1. 母集団 ————— 実際の研究の対象となるもの
2. 順序尺度 ————— 重さ、長さ、時間などの物理量を表す尺度
3. 名義尺度 ————— 大小関係や程度のような順位を有する尺度
4. 交絡因子 ————— 2つの要因の関連をかく乱する他の因子
5. Likert 尺度 ————— 階層性を持った質問などに対する回答についての比率尺度

22 理学療法診療ガイドライン第1版(日本理学療法士協会)における理学療法介入の推奨グレード分類で、「行わないように勧められる科学的根拠がない」に該当する推奨グレードはどれか。

1. A
2. B
3. C1
4. C2
5. D

23 歩行について正しいのはどれか。

1. 身長が高いほど重複歩距離は短くなる。
2. 進行方向と足の長軸がなす角度を足角という。
3. 両脚支持期は歩行速度が速くなると長くなる。
4. 水平面上の進行方向に対して垂直方向の両足の開きを歩幅という。
5. 一側の踵が接地してから再び接地するまでの時間をステップ時間という。

24 腹臥位と比較した場合の背臥位の特徴について正しいのはどれか。

1. 誤嚥が生じやすい。
2. 上気道が狭窄しにくい。
3. 機能的残気量が減少しやすい。
4. 動脈血酸素分圧が低下しにくい。
5. 後肺底区の換気が改善しやすい。

25 主観的幸福感を評価できるのはどれか。

1. FIM
2. Katz Index
3. PGC モラールスケール改訂版
4. 老研式活動能力指標
5. SF-36

26 関節可動域測定法(日本整形外科学会、日本リハビリテーション医学会基準による)で前額面上の角度を測定するのはどれか。

1. 肩甲帯挙上
2. 肩内旋
3. 膝伸展
4. 頸部屈曲
5. 胸腰部回旋

27 Daniels らの肩関節の徒手筋力テストにおける段階と測定肢位の組合せで正しいのはどれか。

1. 屈曲の段階 2 ————— 背臥位
2. 伸展の段階 3 ————— 座 位
3. 外旋の段階 4 ————— 座 位
4. 水平内転の段階 2 ————— 腹臥位
5. 水平外転の段階 2 ————— 側臥位

28 痛みを主症状とする疾患はどれか。2つ選べ。

1. Basedow 病
2. Buerger 病
3. Ménière 病
4. 強直性脊椎炎
5. 急性灰白髄炎

29 記憶障害の評価法はどれか。

1. BADS<behavioural assessment of the dysexecutive syndrome>
2. BIT
3. CAT<clinical assessment for attention>
4. RBMT
5. WCST

30 右頭頂葉障害で特徴的な症状はどれか。

1. 警官の敬礼のまねができない。
2. 顔を見ただけでは誰か分らない。
3. 歯ブラシで歯を磨くことができない。
4. 料理を段取り良く行うことができない。
5. 服の左右の袖に腕を通すことができない。

31 歩行において下腿義足の初期内転角が不足しているときに生じる現象はどれか。

1. 断端外側遠位部に圧迫感が生じる。
2. 断端内側遠位部に圧迫感が生じる。
3. 踵接地時に義足足部が回旋する。
4. 義足の足部外側が浮き上がる。
5. 歩幅が広い。

32 関節リウマチの脊椎病変で最も多いのはどれか。

1. 黄色靭帯骨化
2. 環軸椎垂脱臼
3. 後縦靭帯骨化
4. 脊柱側弯
5. 腰椎椎間板ヘルニア

33 膝前十字靭帯損傷と合併して損傷しやすい部位はどれか。

1. 外側側副靭帯
2. 後十字靭帯
3. 後半月大腿靭帯
4. 膝蓋腱
5. 内側半月板

34 多発性硬化症において、頸部を前屈すると項部から下肢まで電撃痛が放散する徴候はどれか。

1. Gowers 徴候
2. Lhermitte 徴候
3. Patrick 徴候
4. Tinel 徴候
5. Uhthoff 徴候

35 慢性閉塞性肺疾患の身体所見でみられやすいのはどれか。

1. 乾性咳嗽
2. 呼吸音低下
3. 肺野打診での濁音
4. 胸郭柔軟性の増加
5. 胸部聴診での捻髪音

36 平衡機能障害において、後索性や小脳性に比べ前庭性に最も関連する異常はどれか。

1. 眼 振
2. 構音障害
3. 深部感覚障害
4. 耳鳴り
5. Romberg 試験陽性

37 フレイルの高齢者の特徴について正しいのはどれか。

1. 筋量が増加する。
2. FBS が低値になる。
3. TUG 時間が短くなる。
4. 長座位前屈距離が短くなる。
5. 運動負荷時の Borg 指数が低値となる。

38 寒冷療法が痙縮を低下させる機序はどれか。

1. 筋組織の代謝の増大
2. 毛細血管透過性の増大
3. γ 神経線維の伝導速度の低下
4. δ 神経線維の伝導速度の低下
5. 筋紡錘からの求心性放電の増大

39 虚血性心疾患に対する運動療法が禁忌となるのはどれか。2つ選べ。

1. 安定狭心症
2. 代償性心不全
3. 活動性の心筋炎
4. I度房室ブロック
5. コントロールされていない不整脈

40 認知症の周辺症状であるBPSD (behavioral and psychological symptoms of dementia) はどれか。

1. 失行
2. 失認
3. 妄想
4. 見当識障害
5. 遂行機能障害

41 脊髄小脳変性症の患者で、歩行可能であるが伝い歩きが主であり、方向転換時に不安定となってしまう場合の歩行補助具として適切なのはどれか。

1. T字杖
2. 歩行車
3. 交互型歩行器
4. ウォーカーケイン
5. ロフストランド杖

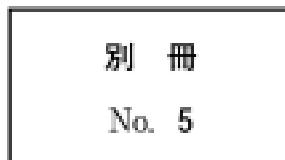
42 変形性膝関節症の理学療法介入方法について、理学療法診療ガイドライン第1版（日本理学療法士協会）で推奨グレードが最も低いのはどれか。

1. 協調運動
2. 減量療法
3. 有酸素運動
4. 筋力増強運動
5. ホットパック

43 手関節背屈位で手をついて転倒した患者の엑스線単純写真(別冊No. 5)を別に示す。

この病態として正しいのはどれか。

1. chauffeur's 骨折
2. Colles 骨折
3. Galeazzi 骨折
4. Monteggia 骨折
5. Smith 骨折



44 重度の片麻痺を生じた脳梗塞患者に対する急性期の理学療法で正しいのはどれか。

1. 立位練習には装具を用いない。
2. 非麻痺側の筋力増強運動は行わない。
3. 神経症候の増悪がなければ離床練習を開始する。
4. 深部静脈血栓症の予防目的で弾性ストッキングは使用しない。
5. 安静時に収縮期血圧が140 mmHgを超えている場合は実施しない。

45 外傷性の前頭葉損傷による高次脳機能障害の患者に対する動作指導として適切なのはどれか。

1. 床からの起き上がりは、起き上がる方向を次々と変えながら練習する。
2. 歩行では、股・膝・足関節の運動に同時に注意を払うよう指導する。
3. 車椅子操作は、手順を1つずつ確認しながら進めるよう指導する。
4. 動作の手順を間違えた場合は、自分で気付くまで指摘しない。
5. 更衣動作では、上衣と下衣を交互に練習する。

46 重症筋無力症のクリーゼについて誤っているのはどれか。

1. 嚥下障害を認める。
2. 咳嗽機能が低下する。
3. 閉塞性換気障害をきたす。
4. 発症率は20%以上である。
5. ステロイドの急激な減量が原因となる。

47 GMFCS レベルⅡの痙直型脳性麻痺児に対する運動指導で最も適しているのはどれか。

1. 車椅子の駆動練習
2. 割り座での座位練習
3. 歩行補助具なしでの歩行練習
4. バニーホッピングによる四つ這い移動練習
5. スタンディングボードを用いての立位練習

48 脳卒中後の在宅高齢者について、ICFにおける活動の評価に最も関連する情報はどれか。

1. 住環境
2. 家族関係
3. 認知機能
4. 外出時の交通手段
5. 活用可能なインフォーマルサービスの有無

49 介護予防における二次予防事業について正しいのはどれか。

1. 介護予防に関するボランティアを養成する。
2. 基本チェックリストによって対象者を決定する。
3. 要支援認定者を対象に運動機能向上教室を開催する。
4. 居宅を訪問し要介護度改善のための理学療法を行う。
5. 介護予防に関するパンフレットによる啓発活動を行う。

50 標準予防策(standard precautions)において、操作の後だけに手指衛生が必要なのはどれか。

1. 気管吸引
2. 血圧測定
3. 脈拍測定
4. 体温測定
5. ベッド欄の操作

51 骨について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 長骨の骨幹には髄腔がある。
2. 骨には緻密骨と海綿骨がある。
3. 骨芽細胞は骨吸収に関与している。
4. 骨の関節面は滑膜で覆われている。
5. 骨膜は骨の長軸方向の成長に関わる。

52 運動軸が2つの関節はどれか。

1. 手指 PIP 関節
2. 橈骨手根関節
3. 腕尺関節
4. 上橈尺関節
5. 肩甲上腕関節

53 外側腋窩隙を構成する筋はどれか。

1. 棘上筋
2. 棘下筋
3. 広背筋
4. 大円筋
5. 肩甲下筋

54 錐体路について誤っているのはどれか。

1. 大脳の運動皮質から始まる。
2. 大脳の基底核を経由する。
3. 大脳脚を経由する。
4. 大多数は延髄で交差する。
5. 脊髄の前角でシナプスを形成する。

55 内頸動脈から直接分岐しないのはどれか。

1. 眼動脈
2. 前大脳動脈
3. 中大脳動脈
4. 前交通動脈
5. 後交通動脈

56 筋と支配神経の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 円回内筋 ————— 尺骨神経
2. 深指屈筋 ————— 橈骨神経
3. 長掌筋 ————— 正中神経
4. 長母指伸筋 ————— 後骨間神経
5. 腕橈骨筋 ————— 前骨間神経

57 リンパ系について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 脾臓はリンパ液を濾過する。
2. 胸管は右鎖骨下静脈に流入する。
3. 腸管由来のリンパ液を乳糜という。
4. リンパ管には弁機構が存在しない。
5. 右下肢のリンパ液は胸管に流入する。

58 呼吸器の解剖について正しいのはどれか。

1. 細気管支には軟骨がある。
2. 胸膜腔は吸気時に拡大する。
3. 肺の栄養血管は肺動脈である。
4. 肺尖は鎖骨と同じ高さに位置する。
5. 右主気管支は左主気管支よりも短い。

59 解剖学的“嗅ぎタバコ入れ”で触診できるのはどれか。

1. 月状骨
2. 三角骨
3. 舟状骨
4. 小菱形骨
5. 有頭骨

60 細胞内小器官の働きで正しいのはどれか。

1. 滑面小胞体は ATP を合成する。
2. Golgi 装置は蛋白質を修飾する。
3. ミトコンドリアはグリコーゲンを分解する。
4. ライソソームは蛋白質を合成する。
5. リボソームは細胞内の物質を分解する。

61 反射と脳神経の組合せで正しいのはどれか。

1. 角膜反射 ————— 視神経
2. 対光反射 ————— 動眼神経
3. 前庭動眼反射 ———— 三叉神経
4. 下顎反射 ————— 顔面神経
5. 咽頭反射 ————— 副神経

62 伸張反射について正しいのはどれか。

1. 侵害受容反射である。
2. 単シナプス反射である。
3. 求心性線維は Ib 群線維である。
4. 遠心性線維は γ 運動線維である。
5. 筋紡錘内の錘内線維を支配するのは α 運動線維である。

63 運動単位について正しいのはどれか。

1. 運動単位には求心性線維が含まれる。
2. 1つの筋は単一の運動単位で構成される。
3. 神経支配比が小さいほど微細な運動ができる。
4. 随意運動時には大きな運動単位ほど先に活動を始める。
5. 伸張反射では弱い刺激で活動を開始するのは速筋である。

64 抗体を産生するのはどれか。

1. 好酸球
2. 好中球
3. 好塩基球
4. 形質細胞
5. マクロファージ

65 胆汁について正しいのはどれか。

1. 脂肪の吸収を抑制する。
2. 消化酵素が含まれる。
3. 食物の摂取によって分泌が増加する。
4. 胆汁酸塩の大部分は大腸で再吸収される。
5. 胆嚢で産生される。

66 排尿機構について正しいのはどれか。

1. 排尿時には内尿道括約筋が収縮する。
2. 膀胱に尿が溜まり始めるとすぐに尿意を感じる。
3. 尿道を尿が通る知覚は排尿筋の収縮を抑制する。
4. 膀胱括約筋はノルアドレナリンの作用で収縮する。
5. 排尿を我慢するときには大脳皮質から抑制がかかる。

67 副甲状腺ホルモンで正しいのはどれか。

1. 骨吸収を促進する。
2. 好酸性細胞で分泌される。
3. リンの再吸収を促進する。
4. 重炭酸イオンの再吸収を促進する。
5. 遠位尿細管でのカルシウム再吸収を抑制する。

68 摂食嚥下の際の運動で正しいのはどれか。

1. 嚥下後の呼吸は吸気から再開される。
2. 口腔内の食塊は反射運動で咽頭へ送られる。
3. 嚥下反射が起こると舌骨は下方に移動する。
4. 食塊の咽頭への送り込み時に口蓋帆張筋が緊張する。
5. 食塊の食道への送り込み時に輪状咽頭筋が収縮する。

69 等張性運動について正しいのはどれか。

1. 角速度は一定である。
2. 等尺性運動に比べ血圧が上昇しやすい。
3. 等尺性運動に比べ収縮時の筋血流が増加しやすい。
4. 等尺性運動に比べ心拍数が増加しやすい。
5. 負荷に抗して姿勢を維持するときにかかる。

70 頸椎の伸展に作用する筋はどれか。

1. 頸長筋
2. 頭長筋
3. 頸板状筋
4. 後斜角筋
5. 前頭直筋

71 肩甲骨の下方回旋に作用する筋はどれか。

1. 前鋸筋
2. 小胸筋
3. 小円筋
4. 棘下筋
5. 鎖骨下筋

72 正常な膝関節を屈曲したときの最終域感で正しいのはどれか。

1. 虚 性
2. 筋 性
3. 骨 性
4. 靭帯性
5. 軟部組織性

73 足の外側縦アーチを形成するのはどれか。2つ選べ。

1. 踵 骨
2. 距 骨
3. 舟状骨
4. 立方骨
5. 中間楔状骨

74 正常歩行について正しいのはどれか。

1. 肩関節は同側の踵接地時に最大屈曲位となる。
2. 膝関節は踵接地直後に伸展する。
3. 骨盤は水平面において回旋運動をする。
4. 骨盤は前額面において水平に保たれる。
5. 骨盤は逆脚側へ側方移動する。

75 運動時の生体反応で正しいのはどれか。

1. 冠血流は低下する。
2. 腎血流は増加する。
3. グリコーゲン分解が促進される。
4. 尿へのナトリウム排泄は促進される。
5. 酸素含有量の動静脈較差は減少する。

76 歩行障害がある患者の頭部 MRI の T1 強調冠状断像(別冊No. 6)を別に示す。腰椎穿刺を行い髄液を排出させたところ、歩行障害が改善した。

最も考えられるのはどれか。

1. Parkinson 病
2. 正常圧水頭症
3. 脳梗塞
4. 脳出血
5. 慢性硬膜下血腫

別 冊 No. 6

77 熱傷について正しいのはどれか。

1. 第Ⅰ度熱傷では熱感はみられない。
2. 浅達性第Ⅱ度熱傷では瘢痕を残す。
3. 深達性第Ⅱ度熱傷の水疱底は発赤している。
4. 第Ⅲ度熱傷では疼痛が著明である。
5. 鼻咽腔内に煤が見られたときは気道熱傷が疑われる。

78 非ステロイド性抗炎症薬(NSAIDs)の副作用として正しいのはどれか。

1. 胃潰瘍
2. 低血糖
3. 多幸感
4. 骨粗鬆症
5. 中心性肥満

79 欲求を満たせないときに、正反対の欲求を発展させ心的平衡を保とうとする防衛機制はどれか。

1. 抑 圧
2. 否 認
3. 行動化
4. 合理化
5. 反動形成

80 古典的條件付けの原理を用いた治療法はどれか。

1. 曝露法
2. 認知再構成法
3. トークンエコノミー法
4. セルフモニタリング法
5. 社会生活技能訓練(SST)

81 作動記憶〈ワーキングメモリー〉の説明として適切なのはどれか。

1. 数日間保持される。
2. 非宣言的記憶の1つである。
3. 技能の記憶として機能する。
4. 生活史の記憶として機能する。
5. 情報の処理と保持を同時に行う。

82 運動制御における小脳の役割で正しいのはどれか。

1. 一連の動作の企画
2. 運動プランの切り替え
3. 記憶に基づく運動の修飾
4. 視覚情報を運動指令に変換
5. 自発的な行為のプログラミング

83 脊髄ショック期の徴候として正しいのはどれか。

1. 温痛覚解離
2. 痙性四肢麻痺
3. 肛門括約筋反射消失
4. 深部腱反射亢進
5. 排尿反射亢進

84 脊髄損傷の機能残存レベルと可能な動作の組合せで正しいのはどれか。

ただし、機能残存レベルより下位は完全麻痺とする。

1. C4 ——— 万能カフを用いた食事
2. C5 ——— 前方移乗
3. C6 ——— 橈側-手掌握り
4. C7 ——— 更衣
5. C8 ——— 長下肢装具での歩行

85 Fallot 四徴症で起こる血管異常はどれか。

1. 大動脈騎乗
2. 大動脈狭窄
3. 冠動脈狭窄
4. 肺静脈閉塞
5. 肺動脈弁逆流

86 スパイロメトリーで計測できないのはどれか。

1. 1 秒量
2. 予備吸気量
3. 1 回換気量
4. 最大吸気量
5. 機能的残気量

87 関節リウマチについて正しいのはどれか。

1. 股関節などの大関節に初発する。
2. 間質性肺炎を合併することが多い。
3. 罹患関節の症状は非対称性に現れる。
4. 半数以上にリウマトイド結節が認められる。
5. 血清アルカリフォスファターゼが高値となる。

88 免疫不全によって生じやすい疾患はどれか。

1. 肝性脳症
2. ベラグラ脳症
3. Wernicke 脳症
4. トキソプラズマ症
5. Creutzfeldt-Jakob 病

89 Lewy 小体型認知症に伴うことが多いのはどれか。

1. 幻 視
2. 失語症
3. 高血圧
4. 聴覚障害
5. 入眠障害

90 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 50 % 以上で再発する。
2. 脱髄型と軸索型がある。
3. アルコール多飲が原因である。
4. ビタミン B₁ 欠乏によって起こる。
5. 歩行可能まで回復する症例は 25 % 以下である。

91 Duchenne 型筋ジストロフィーの呼吸障害について正しいのはどれか。

1. 咳をする力は保たれる。
2. 口すぼめ呼吸が有効である。
3. 側弯症は呼吸機能に影響しない。
4. 動脈血二酸化炭素分圧が上昇する。
5. 呼吸不全は 5 歳以下から生じることが多い。

92 腎不全における透析療法について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 透析対象者数は年々増加傾向にある。
2. 血液透析よりも腹膜透析の割合が多い。
3. 昼間透析よりも夜間透析の割合が多い。
4. 透析導入の原因疾患は糖尿病性腎症が最も多い。
5. 透析対象者の死亡原因として肝不全が最も多い。

93 糖尿病の運動療法で正しいのはどれか。

1. 食後すぐに運動を開始する。
2. 冷汗は高血糖発作の予兆である。
3. インスリン投与中は運動療法を中止する。
4. 空腹時血糖値が高いほど運動量を増やす。
5. 増殖性網膜症がある場合には運動強度を軽くする。

94 乳癌について正しいのはどれか。

1. 月経前に疼痛が増悪する。
2. 好発部位は乳房の外側上部である。
3. 好発年齢は20歳代である。
4. 5年生存率は40%前後である。
5. 我が国における発症率は欧米の3倍である。

95 介護保険について正しいのはどれか。

1. 要介護認定の申請は都道府県に対して行う。
2. 65歳未満では給付を受けられない。
3. 要介護認定には主治医意見書が必要である。
4. 要介護状態区分等は要支援と要介護を合わせて6段階ある。
5. ケアプランを作成できるのはケアマネジャーのみである。

96 高齢初発てんかんについて正しいのはどれか。

1. 特発性てんかんが多い。
2. 患者数は減少傾向にある。
3. 部分発作を呈することが多い。
4. てんかん重積状態に至ることはない。
5. 抗てんかん薬が無効であることが多い。

97 器質性精神障害について正しいのはどれか。

1. 妄想はみられない。
2. 安定した人格を認める。
3. 記憶障害はみられない。
4. 抗精神病薬は投与しない。
5. 心理的要因の影響を受ける。

98 ベンゾジアゼピン系睡眠薬の依存について正しいのはどれか。

1. 中高年者にはみられない。
2. 身体依存は形成されない。
3. 離脱症状としてせん妄がある。
4. 常用量であれば依存は形成されない。
5. 作用時間の長い薬剤の方が依存を形成しやすい。

99 「自分がやっていることなのに、自分がやっている感じがしない」と訴える患者の症状はどれか。

1. 恐怖症
2. 拒絶症
3. 離人症状
4. 心気症状
5. 感情鈍麻

100 親しい人間関係を構築できず、奇異な考え方や風変わりな行動が継続してみられ、パーソナリティ障害を指摘された。

最も考えられるのはどれか。

1. 演技性パーソナリティ障害
2. 依存性パーソナリティ障害
3. 統合失調型パーソナリティ障害
4. 猜疑性(妄想性)パーソナリティ障害
5. シゾイド(統合失調質)パーソナリティ障害

